

(臨床研究に関する公開情報)

大阪南医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 大阪南医療センターにおける代行修正および疑義照会 PBPM 導入後の有用性調査

[研究責任者] 薬剤部 植田 裕美

[研究の背景]

現在、医師の業務負担軽減を主な目的とし、薬剤師をはじめとする各種医療スタッフの積極的な活用が推奨され、タスクシフトが日本各地で進められています。また、日本の関係法令で薬剤師に認められている業務範囲で、医師と薬剤師の間で事前に作成・合意したプロトコル（計画書）に基づく薬物治療管理（PBPM：Protocol-Based Pharmacotherapy Management）の活用を日本病院薬剤師会は推奨しています。大阪南医療センターにおいても、2022 年 1 月 11 日より、院内処方に対して事前に作成・合意した計画書に基づき、適正な薬物治療の推進や医師の業務負担軽減を目的とし、医師の代わりに処方内容を薬剤師が修正する取り組み（代行修正および疑義照会 PBPM）を開始しました。

[研究の目的]

当院で代行修正および疑義照会 PBPM を開始したことにより、医師の業務負担軽減や適切な薬物治療の推進に薬剤師がどの程度貢献できたかを取り組み前後で比較して検証することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さま

2021 年 6 月に、当院の薬剤師が院内処方に対して疑義照会を行った全ての患者さま、2022 年 1 月 11 日から 2023 年 1 月 10 日に、当院の薬剤師が院内処方に対して疑義照会、代行修正、疑義照会 PBPM を行った全ての患者さま

●研究期間：倫理審査委員会承認日から 2024 年 3 月 31 日

●利用する検体・カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：処方内容（処方薬、用法用量、処方期間など）、実施された疑義照会、代行修正、疑義照会 PBPM の件数および内容

●情報の管理

情報は、厳重に管理し、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表予定ですが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構大阪南医療センター 薬剤部 植田 裕美
電話 0721-53-5761 FAX 0721-53-8904